

土壤蘇生 Fe

# モグラットー



鉄分補給とモグラ対策を同時に実現！

ク溶性の鉄分を中心に超微量元素分を補給し、  
硫黄分の働きでモグラ・ネズミ・ナメクジも  
寄せ付けにくくします。



土壤蘇生 Fe モグラットーは、ク溶性の鉄分と硫黄分を中心とした混合ミネラル資材です。

窒素、リン酸、カリを中心とした化学肥料による肥培管理や、連作により崩された超微量元素を補給し  
土壤を蘇生させます。

国内の土壤にはかなりの量の鉄分が含まれていますが、作物が吸収可能なク溶性の鉄分は殆どありません。  
酸性土壤以外では殆どが不溶性の酸化鉄です。

鉄分はMgとともに葉緑素の形成に係りがあり、欠乏するとタンパク質合成が阻害されて窒素化合物が作物  
体内にたまります。そうすると病気にかかりやすくなり、最後はMn欠乏と同様に葉色が黄白化してしまいます。



液剤  
生第83385号  
硫黄分：6%



粉剤  
生第83386号  
硫黄分：15%

鉄欠乏が出やすい作物としては、稲、ナス、  
トマト、ウリ類、花卉類、ミカンなどがあげら  
れます。

また鉄分は、堆肥等を利用する圃場では  
微生物の有機質分解の助け、堆肥製造に  
おいては腐熟化を助け、アンモニア臭や  
硫化水素臭の発生も抑えます。

この消臭作用と微かな硫黄分の臭いも  
あいまって、モグラ・ネズミ・ナメクジも  
寄りつきにくくなる事例が見られます。

# モグラットー イチゴ栽培時の使用方法

## ■モグラが多い圃場の場合

畝立て時に、「**粉剤**」を土壤混和します(全面で10~15kg/10a、ハウス内部の内側約2mを重点的に)。

その後も効果を持続させるには、3ヵ月後に「**液剤**」を250倍程度に希釈し、ハウス外周部(ハウス内部の外周部)50cm幅以上の部分に散布します。

さらに1ヶ月ごとに、10aハウスの外周で、使用原液1リットル弱を継続的に散布します。

### ●すでにモグラの被害を受けている場合

「**液剤**」原液2リットル/10aを300倍希釈でハウス全面に土壤吸着させます。

灌水チューブ利用の場合、液肥感覚で「通常灌水→300倍希釈灌水→押し出し灌水」の順で状況を見ながら、4~5日間隔で2~3回散布します(一度では効果が発揮しづらい場合があります)。

1ヶ月半ごとに、ハウス外周部を処理するか、灌水チューブで全面処理し、効果を持続させます。

## ■ネズミ・ナメクジが多い圃場の場合

「**粉剤**」を土壤混和します(300坪のハウスで5~10kg/10a、ハウス外の外周部に使用)。

### ●すでにネズミやナメクジの被害を受けている場合

「**液剤**」原液2リットル/10aを300倍希釈でハウス全面に土壤吸着させます。

灌水チューブ利用の場合、液肥感覚で「通常灌水→300倍希釈灌水→押し出し灌水」の順で散布します。ビニール内壁と畝の間に通路がある場合は、その部分にも必ず散布してください。

継続散布は、1~1.5ヶ月ごとに行います。

初回の散布では、状況を見ながら4~5日間隔で2~3回散布してください。

### 液剤の効果的な使用方法

使用方法	灌水チューブで液肥散布の要領で
灌水方法	事前に液肥や水を流し、その後希釈液を灌水。最後に数分間押し出し水を。
希釈倍率	250~300倍
使用原液	・300リットルタンク：1リットル ・500リットルタンク：2リットル(原液2リットル/反)
希釈液量	・100坪ハウス：200リットル ・300坪ハウス：500リットル
散布回数	被害状況を見ながら3~5日間隔で数回灌水します
効果期間	1~2ヶ月 ※圃場環境により短い場合あり

### 粉剤の効果的な使用方法

散布時期	畝立て直前
散布場所	ハウスの内側約2m部分を重点的に土壤表面に散布し、耕耘、畝立(筋蒔き禁止)
散布量	<b>100坪ハウス</b> 外周のみ：2.5~5kg 全面：5~10kg
	<b>300坪ハウス</b> 外周のみ：5~10kg 全面：15~20kg
	※堆肥が多い場合は多めに散布してください。(完熟堆肥をご利用下さい)
効果期間	3~4ヶ月 ※圃場環境により短い場合があります。 ※継続的に効果を持続させる為液剤での外周処理を行ってください(月に1回)

## 取扱上の注意

- 葉やけを起こすことがあるため、葉にかからないようにご使用下さい。葉に付着した場合は水で洗い流してください。
- 土壤混和直後の定植で根を痛めることはありません。
- アルカリ性資材と混用することは避け、使用基準の範囲内をご利用下さい。
- モグラットー**液剤**を、他の液肥や農薬と混合散布することは避けてください。
- アミノ酸系液肥散布後には、モグラットー**液剤**を1週間ほど日にちを開けて散布してください。
- 目に入った場合は直ちに洗い流してください。また、子供の手の届かない冷暗所に保管してください。